

- 年金相談業務における社会保険労務士の活用方策の検討
- 年金相談における民間ビジネスとしての環境整備

- 住基ネットワーク等を活用した年金受給者の生存確認

- 入力事務等の外部委託の拡大

- 外部委託のブロック単位への集約化

年金相談業務の質の向上

- 年金相談員のスキル別の研修の実施等を検討。
【新規】
- 社会保険労務士等に対する研修を検討。

◆すべての国民が年金相談及び年金電話相談に満足できるものとなるよう、質の向上を図る。

被保険者及び年金受給者の記録管理の徹底

- 年金個人情報の提供による加入記録整備の推進。
【新規】
- 住民基本台帳ネットワークを活用した被保険者等の記録管理を推進。

◆すべての被保険者及び年金受給者の記録の整備・管理を確実に行う。

サービススタンダードの設定・徹底【新規】

- サービススタンダードの達成状況の把握・公表及び問題点の改善。
- 年金裁判の処理日数の短縮。
- 障害年金の事務処理方法の見直しの検討。

◆全国のどの社会保険事務所等を利用した場合にも、迅速なサービスが確実に提供される体制を確立する。

事務処理の標準化の推進【新規】

- 全国統一の業務マニュアル作成。
- 業務ノウハウの共有化。
- 業務品質の向上を図るための体制整備。

◆全国のどの社会保険事務所等を利用した場合にも、全国共通の事務処理によるサービスが提供されるよう標準化を図る。

事務処理の効率化の推進

- 費用対効果を検証した上で、外部委託化を推進。
- 市町村経由の届書の磁気媒体による受付を検討。
【新規】
- 電子申請・磁気媒体届の推進。【新規】

◆定型的な業務の外部委託の徹底及び届書等の電子申請・磁気媒体化の推進による事務処理の効率化を図る。